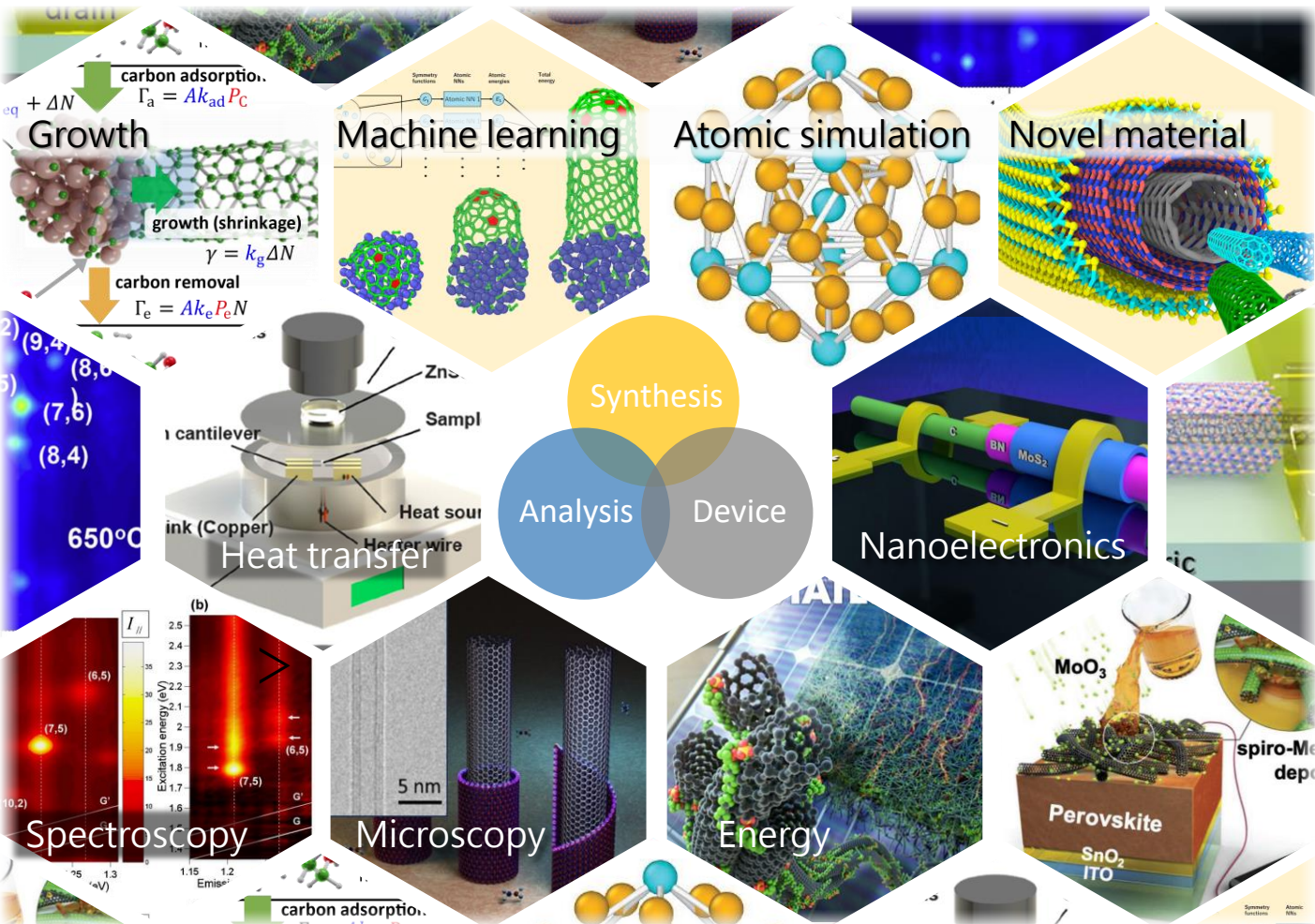


# 丸山研究室 Maruyama Laboratory

— ナノテクノロジーから革新を —



丸山研究室では、カーボンナノチューブなどのナノ材料を緻密に制御して合成するとともに、それらをエネルギー・半導体デバイスに応用するための研究に取り組んでいます。



丸山教授



研究室HP

カーボンナノチューブ（CNT）はグラフェンを直径約1nmの筒状に丸めた構造を持つナノ材料であり、様々な面で優れた機械的特性を有しています。さらにその一次元的な構造に起因して興味深い特性が現れ、次世代の半導体材料としても期待が高まっています。ただ、その特異さゆえに合成や分析、デバイス作製が難しく、その潜在能力を余すことなく発揮した産業応用には至っていません。

当研究室では、アルコールCVD法の開発などによりこの分野に貢献してきました。最近ではCNTから派生した新物質群「一次元ファンデルワールスヘテロ構造」の合成を実現するなど、ナノ材料科学・工学の研究で世界をリードし続けています。あなたのエンジニアリングセンスで、ナノテクから技術革新を起こしましょう。

<問い合わせ>

丸山 茂夫 : maruyama@photon.t.u-tokyo.ac.jp, 03-5841-6421

※当研究室は、千足研究室と共同で運営しています。